

特別養護老人ホーム 中標津りんどう園

運営方針
<p>入園者に快適で安心できる生活が送れるよう、理念に沿った質の高いケアと、「思いやり」や「やさしさ」、おもてなしする心を感じてもらえるサービスの提供を目指します。</p> <p>また、居心地の良い家庭的雰囲気のある環境づくり・個別ケアを目指した介護サービスに努めていきます。</p>
重点目標
<p>1. 介護目標</p> <p>「その人らしさ」を尊重し、役割や生きがい、そして個性ある入園者一人ひとりの「思い」を反映した「個別支援計画」を作成していきます。</p> <p>2. 看護目標について</p> <ul style="list-style-type: none">・入園者が安心して生活できるよう、日々の健康状態を把握するとともに、体調管理や疾病の早期発見に努めていきます。・終末期においては入園者本人・ご家族の希望を尊重し対応していきます。 <p>3. 給食目標について</p> <p>食べる楽しみを十分に満たしてもらえよう心掛け、個々に合わせた食事形態や栄養バランスを考えた食事を提供し、入園者の健康保持、増進に努めます。</p>
目標達成のための対応や具体的な取り組み
<p>1. 介 護</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 入園者のニーズに合っているかご本人、ご家族等と確認し、月1回の各棟ミーティング会議で支援の視点を確認して共通認識を図り、随時見直しを行います。(2) 新型コロナ等、感染症流行下であっても実施できる行事やレクリエーションの充実を図るとともに、一人ひとりの趣味活動の場が多く提供できる環境の検討・整備を行います。(3) 終末期においては入園者状況に合わせたカンファレンスを開催し、入園者本人、ご家族の気持ちを確認し、安らかな最期が迎えられるよう環境整備・援助を行います。 <p>2. 看 護</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 嘱託医・関係医療機関との連携を図り、定期的な健診（レントゲン検査、口腔健診等）を行いながら日々一人ひとりの体調管理と疾病の早期発見に努めていきます。(2) 介護職への的確な助言及びサポート等、連携の強化を図ります。また、看取り期の方に対して、安らかな最期が迎えられるよう支援します。 <p>3. 給 食</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 入園者の摂取状況や食事に対する希望を把握し、「見て味わえる」「食べて満足」できる食事の提供を実践していきます。(2) 行事・給食委員会等と連携し。バラエティ富んだ献立作成、行事食の充実、四季折々の旬の物や地域性に沿った嗜好にあった物を提供していきます。

(介護予防) 短期入所生活介護

運営方針

利用者の方が少しでも長く自宅での暮らしを継続できるよう、食事、排泄、入浴等の介護、その他の日常生活上の援助を行い、心身機能の維持並びに利用者ご家族の身体的及び精神的負担の軽減が図れるよう支援していきます。

重点目標

利用者一人ひとりの方の身体面・機能面・ニーズ等の把握を深め、生活意欲や満足度の向上に結び付け、サービスの質の向上へ繋がるよう努めていきます。

目標達成のための対応や具体的な取り組み

- ・利用に際し、介護支援専門員をはじめご家族や各事業所との連絡を密にし、利用者の状況について把握していきます。
- ・利用者の状態やご家族等の事情により、緊急利用という連絡があった場合は、早急に受け入れ対応できるよう努めます。
- ・送迎時は、事故や利用者の体調等に細心の注意を払い安全運転を心がけます。
また、冬季間の吹雪時の対応は細心の注意を払い、予定送迎日時の調整を行うなど、安全確保に努めます。
- ・入所者の長期入院に伴う空きベッドを活用し、空床利用型短期入所事業を積極的に行います。

広域ユニット型特別養護老人ホーム 中標津りんどう園

運営方針

私たちは『3つの心』を大切に入居者皆様の快適な暮らしが実現できるよう支援していきます。

①『敬う心』

- ・入居者様の自尊心、羞恥心に配慮した支援を行います。
- ・今までのライフスタイルを尊重した支援を行います。

②『寄り添う心』

- ・安心した生活が送れるよう、信頼関係構築に努めます。
- ・どのような場面においても、入居者様の味方であることを目指します。

③『一人ひとりの心』

- ・入居者様、ご家族様の声をきき、きめ細かな対応ができるよう努めます。
- ・入居者様の気持ちを理解し、意思を尊重した支援を行います。

重点目標

1. 介護目標

- ・入居者の生活の質の向上に向けた取り組みの実践を行います。
- ・家族との信頼関係の構築と連携、そして職員間の情報共有の強化・徹底を図ります。

2. 看護目標

- ・一人ひとりの健康状態の把握に努め、体調管理と病気の早期発見に努めます。
- ・入居者が安心して、「その人らしい、今までの生活」の在り方に着目し、その人らしい人生の締めくくり方について、本人・家族の希望を大切にしていきます

3. 給食目標

今までの生活ペースに近い暮らしを継続していただけるよう、個々の嗜好や食事形態に合わせた食事の提供に努めていきます。

目標達成のための対応や具体的な取り組み

1. 介 護

(1) アセスメントを深め、入居者・家族、一人ひとりの思いに添ったケアプランを作成していきます。

また、ケアプランがニーズに合っているか、関係職で随時カンファレンスを実施して検証し、満足度の高いサービスの提供・看取り介護の実践に努めていきます。

(2) 入居者個々に希望される事を一つひとつ実現に向け検討します。

又、家族との関わりを大切に、入居者の身体状況の変化時には連絡（情報共有）を行うとともに、家族の意向を確認し寄り添った対応に心がけ、生活の質の向上に導ける様、チームとして一緒に考えていきます。

2. 看 護

(1) 嘱託医・関係医療機関との連携を図り、定期的な健診（レントゲン検査、口腔健診等）を行いながら日々一人ひとりの体調管理と疾病の早期発見に努めていきます。

- (2) 介護職への的確な助言及びサポート等、連携の強化を図ります。また、看取り期の方に対して、安らかな最期が迎えられるよう支援します。

3. 給食

- (1) 入居者の摂取状況や食事に対する希望を把握し、「見て味わえる」「食べて満足」できる食事の提供を実践していきます。
- (2) 行事・給食委員会等と連携し、バラエティ富んだ献立作成、行事食の充実と、四季折々の旬の物や地域性に沿った嗜好にあった物を提供していきます。
- 食器の種類を選定や盛り付けなど、「食事」に入居者の方が一緒に参加していただける取り組みを関係職と連携して対応していきます。

各ユニットの目標

かえで：『笑顔と思いやりを大切に入居者様との絆を広げよう』

- ・優しい言葉、優しい笑顔、優しい態度を忘れません。
- ・入居者様の意思・人格・生活習慣の尊重を忘れません。
- ・入居者様の希望を一つでも多く叶える事を忘れません。

白樺：『入居者様お一人お一人と相互理解を深め、和やかで楽しみのある日々を過ごしていただける様支援していきます』

- ・入居者様に楽しんで頂ける行事と毎日行っている様なレクリエーション活動に取り組みます。
- ・入居者様の体調管理と利用者様のお部屋やユニット内の整理整頓に取り組みません。
- ・入居者様や職員にとっても安らげる、穏やかな空間になるような環境づくりを行っていきます。

けやき：『入居者様の思いに耳を傾け、その方の気持ちを少しでも理解しようと思う気持ちを忘れず、日々にケアに繋げていきます』

- ・入居者様と今まで以上に会話を持つ機会を設けていきます。
- ・外出支援の機会を設け、気分転換や外食等で楽しい時間を過ごして頂ける様努めていきます。
- ・入居者様、職員の健康管理に努めます。
- ・心穏やかに、優しい眼差しと親切な言葉を心がけていきます。

もみじ：『日常を楽しく過ごしていただける様支援に努めていきます。』

～ 多くの笑顔に出会うために ～

- ・美味しく、懐かしいおやつを定期的に提供します。
- ・懐かしく、その人らしい写真展や夏祭り（盆踊り）を行います。
- ・ご家族様との時間を大切にし、コミュニケーションや情報の共有に努めます。
- ・職員は笑顔で業務致します。

ディサービスセンター中標津りんどう園

1. 運営方針

1. 利用者一人ひとりを尊重し、丁寧に向き合い、『きめ細やかな心づかい』『気配り』を大切にします。
1. 利用者の皆さんに生き生きと楽しい一日を過ごしていただく為に、様々な行事等の支援を行います。
1. 利用者個々のニーズに合わせたサービスを心がけ、事故のない安心・安定した施設運営に努めます。

2. 重点目標

(1) 利用者、ご家族の皆様に寄り添った支援

- ①利用者・御家族の意見に耳を傾け「個」を大切にし、自立・自己実現を目指します。
- ②利用者御自身がサービスを選択できる環境を目指します。
- ③心に寄り添った思いやりのある接遇(言葉遣い、態度、姿勢)の徹底により、利用者、ご家族の皆様との信頼関係を築くよう努めます。
- ④感染症予防対策を十分に行い、安心してサービスをご利用頂けるよう努めます。

(2) 職種間、多職種連携とチームワーク

職種間、多職種との連携とチームワークを図り、自立支援の為にの関わりに努め、在宅生活の継続を支援します。

(3) 職員の質の向上と地域交流

- ①各種研修会に積極的に参加し、自己研修にも励み、職員の資質・接遇向上に努めます。
- ②地域との交流を大切にし、ボランティア、実習生等、積極的に受け入れます。

3. 事業内容

①送迎サービス

時間にゆとりを持ち、落ち着いた気持ちで、そして笑顔で迎え(送り)、安心・安全な送迎を心がけます。

②入浴サービス

時間を充分にとり、そしてゆとりをもって介護にあたり、一人ひとりが快適な入浴をしていただけるよう努めます。また、その日の身体状況に応じて、一般

浴槽、車椅子浴槽のいずれかを使用し、安心、安全に入浴していただくようご支援いたします。

③給食サービス

利用者の個々に合わせた食事内容、又は適時・適温の食事提供に努め、行事食（誕生会等）も実施し、利用者の皆様に喜んでいただけるサービスを提供いたします。

④健康チェック

毎日の体調の変化、血圧測定、脈拍の記録、そして月一度の体重測定を実施し利用者の皆様の健康状態の把握に努めます。

又、体調に変化があった場合は初期対応を行うほか、異常が認められたら、すみやかに病院に連絡(家族にも連絡)・搬送し、必要な安全措置を講じます。

⑤養 護

随時、静養時間を設けるなど、安静を必要とするときは看護師の指示によることとします。

⑥機能訓練(レクリエーション)

- ・機能訓練指導員(看護師)による訓練指導の適時実施や生活リハビリの実施。又はプログラムの中でのレクリエーションを楽しく利用していただけるようすすめます。
- ・各々の趣向に合わせ、充実した趣味や娯楽の時間を提供致します。
- ・四季の行事(バスハイク、紅葉狩り)等、野外での行事も計画していきます。

4. タイムスケジュール(参考: 一日の流れ)

- 8 : 1 0 ミーティング
- 8 : 2 0 お迎え(送迎)
- 9 : 1 5 お出迎え、健康チェック、水分補給
- 1 0 : 0 0 入浴・機能訓練
- 1 1 : 4 5 昼食準備、昼食開始
- 1 2 : 4 5 余暇時間(休養)
- 1 4 : 1 5 レクリエーション・機能訓練
- 1 5 : 3 0 ティータイム
- 1 6 : 0 0 歌等、ふれあいの時間
- 1 6 : 1 5 送り(送迎)
- 1 7 : 2 0 業務終了

居宅介護支援センター中標津りんどう園

1. 運営方針

介護保険制度の定期的な見直し・介護報酬の改正も行われ、住民の介護保険に対する意識も向上し、介護サービス利用の需要は年々増大しています。

今年度も引き続きより質の高い介護サービスを目指して、介護保険制度を踏まえながらも地域性を考慮し、関係機関と連携のうえ、サービスを適切かつ効率的に、高齢者や支援者が安心して自立した在宅サービスが継続できるよう支援して参ります。

2. 重点目標

①在宅生活継続への支援

要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限り自宅において、個人の有する能力に応じ自立した、日常生活を営むことができるように配慮します。

②利用者の尊厳を守る

利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の居宅サービス事業者に不当に偏する事のないように公正中立に行います。

③関係機関との連携と協働

地域包括支援センター、他の指定居宅介護支援事業者、介護保険施設等との連携に努め、地域の会議・介護保険等に関する会議・研修へ積極的に参加する。

また、利用者の心身状況、その置かれている環境に応じて、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるように配慮する。

④介護する家族に対する対応について

本人の心身の悪化予防や悪化緩和を図り、在宅生活の継続がご本人・家族共に困難な状況に陥らないよう支援していきます。

また、本人の思いを踏まえつつも家族様の介護負担を軽減し、在宅生活を円滑に継続できるよう、先を見据えた支援計画が建てられるよう配慮していきます。高齢者の権利擁護に留意し、虐待防止にも努めて参ります。